

# 2024年度 関東高等学校ゴルフ選手権冬季大会 埼玉地区予選

開催日:令和6年11月5日(火)

開催コース:高坂カントリークラブ 岩殿コース

本競技は日本ゴルフ協会発行のゴルフ規則とこのローカルルールと競技の条件を適用する。

本書に記載の無い事項や追加変更がある場合は競技規定やプレーヤーへの通知文書、または競技会場での掲示物に掲載されるので必ず参照すること。

ゴルフ規則によって別に定められている場合や本書に罰が記載されている場合を除き、このローカルルールと競技の条件の違反の罰は、「**一般の罰(2罰打)**」となる。

## ローカルルール

### 1. アウトオブバウンズ(規則 18.2)

アウトオブバウンズは白杭のコース側を地表レベルで結んだ線によって定められる。

### 2. ペナルティーエリア(規則 17)

レッドペナルティーエリアは赤杭又は赤線によって定められる。線と杭が併用されている場合は、線はペナルティーエリアの縁を定め、杭はペナルティーエリアの場所を示す。線も杭もない場合は水際をもってその縁とする。

### 3. 異常なコース状態(動かさない障害物を含む)(規則 16)

#### (a)修理地

(1)青杭を立て、白線で囲まれた区域。

#### (b)動かさない障害物

(1)排水溝

(2)小砂利、ウッドチップ、松葉などを使用して舗装した区域。

(小砂利やウッドチップなどの個体はルースインペディメントである。)

(3)人工の表面を持つ道路に接している枕木や丸太は、その道路の一部とみなす。

(4)動かさない障害物と白線でつながれている区域は、その動かさない障害物の一部として扱われる。

### 4. 不可分な物

以下の物は不可分な物であり、無罰の救済は認められない。

(a)樹木やその他の恒久的な物件に巻きつけたり、密着させてあるもの。

(b)ペナルティーエリア内にある人工の壁や杭でできた構造物。

### 5. プレー禁止区域

(a)電磁誘導カート用の2本のレールは全幅をもってカート道路とみなし、全幅をもってプレー禁止区域であり、異常なコース状態として扱われる。規則 16.1fに基づき、そのプレー禁止区域による障害からの罰なしの救済を受けなければならない。ただし、スタンスにだけ障害となる場合は、そのままプレーすることもできる。

### 6. クラブと球の規格

(a)ストロークを行うために使うドライバーは R&A が発行する最新の適合ドライバーヘッドリストに掲載されているクラブヘッド(モデルとロフトで識別される)を持つものでなければならない。

(b)ストロークを行うときに使用する球は R&A が発行する最新の適合球リストに掲載されていなければならない。

このローカルルールの違反に対する罰:失格

### 7. ゴルフシューズ

ラウンド中、プレーヤーは下記の特徴を持つシューズを履いてはならない。

伝統的なスパイクすなわち、地面を深く貫くようにデザインされた1つあるいは複数の鋳を有するスパイク(メタル製、セラミック製、プラスチック製、その他の材質かは問わない)。

このローカルルールの違反に対する罰:規則 4.3 参照

### 8. プレーの中断と再開(規則 5.7)

(a)即時中断(落雷・Jアラート等、切迫した危険がある場合)

委員会がプレーの即時中断を宣言した場合、すべてのプレーヤーは直ちにプレーを止めなければならない。委員会がプレーを再開するまでは別のストロークを行ってはならない。

このローカルルールの違反に対する罰:失格

即時中断中は、委員会がオープンと宣言するまで、すべての練習施設はクローズとなる。クローズとなった練習施設で練習しているプレーヤーは練習を止めるように要請される。その要請に従わなかった場合、失

格とすることがある。

(b)通常の中断(日没やコースがプレー不能)

規則 5.7b,c,d に従って処置すること。

(c)プレーの中断と再開の合図 ……すべて場内放送で通知する。

## 9. 練習(規則 5.2)

(a)ホールとホールの間、プレーヤーは次のことをしてはならない。

終了したばかりのグリーンやその近くで練習ストロークを行う。または、終了したばかりのグリーンの表面をこすったり、球を転がすことによってグリーン面をテストする。(ただし、ハーフ終了後の待ち時間における指定練習グリーンでのパッティング練習を除く。) このローカルルールの違反に対する罰

最初の違反の罰 :一般の罰(プレーヤーの最初のホールに適用される)

2 回目の違反の罰 :失格

## 10. 速やかなプレーのペース(規則 5.6b)

(1)プレーのペースの推奨。プレーヤーは、次に要する時間を含め、ラウンドを通じて速やかなペースでプレーすべきである: …各ストロークのための準備と、ストロークを行うこと。…ストロークとストロークの間の他の場所への移動。…ホールを終了した後、次のティーイングエリアへの移動。プレーヤーは前もって次のストロークの準備をして、自分の順番になればすぐにプレーできるようにしておくべきである。プレーヤーがプレーする順番になったときは: …障害や気を散らすものがなく、プレーできるようになった後、40 秒以内にストロークを行うことを推奨する。…プレーヤーは通常、推奨されている時間より速くプレーすることができはらずであり、そうすべきである。

(3)委員会のプレーのペースの方針。速やかなプレーの奨励と実行のため、委員会はプレーのペースの方針を設定するローカルルールを採用すべきである。この方針はラウンド、ホール、一連のホール、ストロークを終了するための最大時間を設定することができ、そしてその方針に従わないことに対して罰を設定することができる。

**措置: ハーフ終了時、前組との間隔が20分以上の場合、警告し、後半の任意の3ホールにて計測し、改善できない場合、その組全員に一般の罰(プレーヤーの最初のホールに適用される)を与える。**

## 競技の条件

### 1. 参加資格

プレーヤーは「競技規定」で定められる参加資格を満たしていなければならない。

### 2. スコアカードの提出

スコアリングエリア方式を採用する(プレーヤーの両足がエリアから出た時点をもって提出されたものとみなす)。

### 3. タイの決定

正規のラウンドが終了し、1位がタイの場合には、正規ラウンドのマッチング・スコアカード方式によって順位を決定する。以下の順位においても同様の方式によって決定する。

### 4. 競技終了時点

競技委員長の成績発表がなされた時点をもって終了したものとみなす。

競技委員長 目代 賢太郎

距離表 高坂カントリークラブ 岩殿コース (男子) 使用ティーマーカー:青

Hole No.	1	2	3	4	5	6	7	8	9	OUT
Yards	353	498	177	414	371	160	301	492	348	3114
Par	4	5	3	4	4	3	4	5	4	36

10	11	12	13	14	15	16	17	18	IN	TOTAL
399	514	372	385	170	549	346	179	444	3358	6472
4	5	4	4	3	5	4	3	4	36	72

距離表 高坂カントリークラブ 岩殿コース (女子) 使用ティーマーカー:白

Hole No.	1	2	3	4	5	6	7	8	9	OUT
Yards	338	484	159	395	357	146	280	465	330	2954
Par	4	5	3	4	4	3	4	5	4	36

  

	10	11	12	13	14	15	16	17	18	IN	TOTAL
Yards	380	497	351	371	159	517	308	167	372	3122	6076
Par	4	5	4	4	3	5	4	3	4	36	72

### 注意事項

1. 今大会は距離計の使用は許可しています。(2点間の距離のみ OK。高低差は不可。)
2. 今大会は手引きカートの使用は許可していません。(担ぎのみ)
3. 大会使用球の全てに、必ず氏名と通し番号を油性マジック等で記入すること。(スタート時に確認する)
4. 選手は、自分のスタート時間の 10 分前にはティーイングエリア付近にて、スタートの注意があり、スコアカードを渡されるので、遅れないこと。  
 その際、本競技規則(ローカルルール)・目土袋・スコップ・グリーンフォークを持参し、競技開始から終了まで必ず携帯すること。(2019 年版規則書は持参していなくてもよい)  
 ※ローカルルール・目土袋等を持参しない場合、規則 1.2b を適用し、失格とする場合がある。
5. スコアカードには同伴競技者全員のスコアを記入すること。  
(毎ホール、数字で確認の上、記入すること。)
6. ルールブック・目土袋及びスコップは、学校名と氏名を明記し、競技開始から終了まで必ず携行していること。また、ティーイングエリアには必ず目土袋を持って上がるよう心がけること。
7. ローカルルール 7項において規制されるシューズ以外でもグリーンに著しく損傷を与えるシューズは使用禁止とすることがある。
8. プレーヤーにエチケット違反、または非行があった場合には「行動規範」に基づいて制裁を受けることがある。また、重大な非行があった場合には規則 1.2a および 20.2 に基づいて失格とする場合がある。
9. アプローチ・バンカー練習場は、使用禁止とする。
10. グリーン上で旗竿を挿したままプレーする際は、プレー中であることが後続組の視界に入るよう工夫し、事故を防ぐようにつとめること。
11. 携帯電話・スマートフォン等のプレー中の使用を禁止する。ただし、本部への緊急の連絡 (急な体調不良や怪我等で緊急に連絡する必要があるなど) の場合は許可する。  
 (競技委員・運営委員等は緊急時使用することがある。)
12. プレーの進行をスムーズに行うため、前の組と間があいたら、間を詰めるため、ホール間やプレーとプレーの間は駆け足でのラウンドを心がけること。  
 また、前のプレーヤーが打ち終えてから 40 秒以内に打つよう心がけること。(オナーは 50 秒)
13. 服装はユニフォーム規定を厳守し、高校生として、ゴルファーとして好ましく言動を厳に慎むこと。
14. コース周辺に民家があるので注意。万が一、民家に打ち込んだ場合は、近くの競技委員かハーフ終了後、またはラウンド終了後、競技委員に申し出ること。  
(球が曲がって隣のホールに行った際には、全員でフォアの掛け声をかけることを忘れずに。)
15. ショートホールでは、全員の球がグリーンに乗った後、後続組がティーイングエリアにいる場合、競技委員の指示に従って球をマークしてから後続組に打たせることがある。
16. 特別な理由もなく、ミドルホール分以上の距離が前の組とあいてしまった場合、警告を与える。また、その後も前の組との距離が十分に改善されない場合、2罰打を課す。

17. ローカルルールに追加、または変更のある場合は、クラブハウス内及び、スターティングホールに掲示して告示する。

●ハーフチェック

前半9ホール終了時点でハーフチェックがあります。マーカークが選手の9ホールトータルスコアを言えるように、毎ホール、数字でしっかりスコアをつけておくこと。

●アテスト

競技終了後、アテストがあります。まずはスコアカードのマイスコアを切り離し、提出するカードで読めないような字があったらきれいに書き直し、3ホールずつ読み合わせをして確認する。(例：アウト 354 465 535 の40、イン 445 653 454 の40 トータル 80 で間違いはないですか?) 確認したらスコアカードにマーカークのサインをして競技者に渡し、選手は自分でも再度スコアの確認をし、間違いなければ競技者のサインをして提出すること。